

高知県梼原町における森林環境譲与税の活用について

■活用状況（全体像）

区分	令和元年度～令和5年度	令和6年度	計	令和6年度末時点の活用率	未執行額の活用方針
活用額（円）	151,389,000	46,890,000	198,279,000	69.7%	町内全域を対象とした航空レーザ測量及びその情報解析業務の実施を検討している。
譲与額（円）	211,862,000	72,469,000	284,331,000		

■令和6年度の具体的な活用状況

区分	事業区分	事業費（円）		事業内容
		うち 森林環境譲与税		
森林整備	私有林整備等	39,709,000	20,900,000	私有林整備（人工造林6.65ha、間伐14.85ha等）に対しての支援や、森林整備協定に向けた意向調査等を行った。
木材利用	森林・林業・木材普及活動等	25,219,000	22,100,000	森林技術者の育成や技術の継承を推進する取組（森林体験イベント、木育の推進等）の支援や、森林公园・森林セラピーロードの維持管理等を実施した。
人材育成	林業就業者の育成、専門員の雇用	3,900,000	3,890,000	森林技術者や小規模林業者の育成のために、専門的知見を有する講師による指導や、ICTの推進のために民間企業からの専門技術者の受け入れ等を実施した。
基金積立		25,579,000	25,579,000	梼原町森林環境譲与税積立基金
合計		94,407,000	72,469,000	

■今後の実施計画

①森林所有者との森林整備協定に基づく森林整備の実施

主要幹線道路等のライフルラインに隣接する私有林について、随時意向調査を実施し、町と森林所有者との森林整備協定に基づき、防災のための公共事業として未整備森林の主伐、再造林により広葉樹林への転換を図る。



②ICT技術の利用促進

令和元年度に梼原町内全域の航空レーザ測量及びその情報解析を実施し、得られた森林資源情報等を業務に活用しているところだが、近年主伐・再造林が進んでいることもあり、最新の森林現況を把握するため、前回実施から10年程度を目途に、積立基金を活用して2回目の航空レーザ測量及びその情報解析の実施を計画している。